

アジアベンチプレス選手権大会レポート 芦崎

2009年にインドで行われたアジアベンチプレス選手権大会出場以来、6年ぶりの出場となりました。中東であることから家族周囲には相当不安がられました。こういったチャンスはめったになく、思い切って出場の意向を固めました。

久しぶりの出場でかなり気合も入り順調に練習も行ってきましたが、なんと大会2週間前にノロウィルスに罹患に伴い、体重が激減。体力減退、さらに肩の痛みも加わり大スランプに。最悪キャンセルも考えたが、チーム度肝の仲間、地元朝日町からの激励を受けたこともあり、思い切って出場することにしました。

試合当日

第一試技。180kg 失敗。

当初190kgスタートの予定が、シャツが思った以上に緩く、安全パイを取って180kgスタートに。挙がりは、問題なかったが、尻の浮きを取られる。尻の浮きは、昔からの課題であり未だに修正されていないことにショック。さらに失格への不安が頭をよぎる。

第二試技 180kg 成功。

尻の浮きに気を付ける。一気に安堵。

第三試技 200kg 失敗。

シャツに着替えてアップ。190kgを持ったが、比較的軽く切り返せるため、200kgを申請。初日の最終試技者となり気合が入る。しかし、本番は、挙上途中で失速。結局1本取りの180kgという納得のいかない結果に終わった。

結果は、不満足だがM Iのベストリフター受賞は、正直嬉しかった。

今回の日本選手団は少人数であったためか、メンバーの雰囲気は最高。楽しく1週間で過ごさせてもらった。また、国際大会に出場する機会があれば、同じメンバーでまた行きたい。